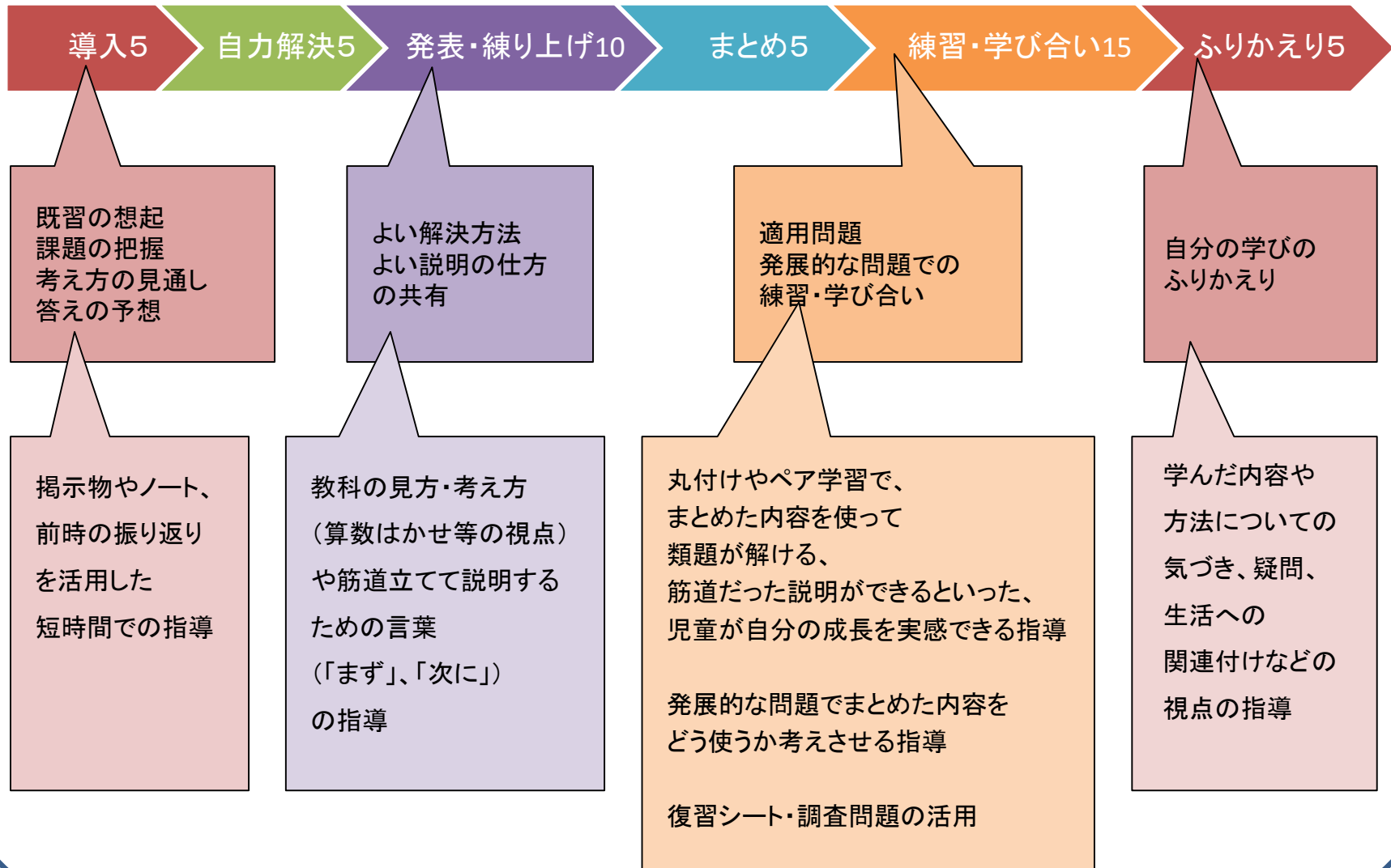
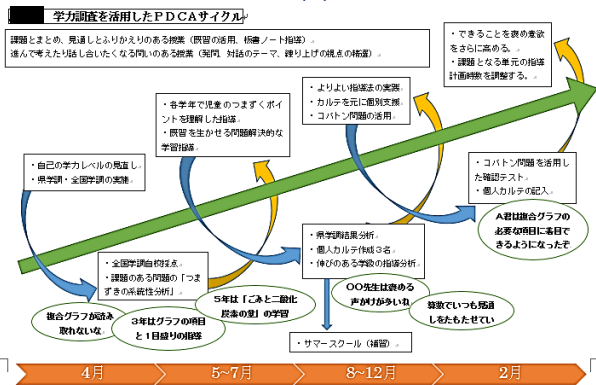


取組①練習・学び合いを重視した展開の重視



### 取組②自校採点

- 全国学力・学習状況調査を、全職員で分担して採点する。
- 同じ科目を採点した職員で集まり、児童が躓きやすい問題や誤答の傾向について話し合う。
- 分析結果をまとめて全職員で共有する。



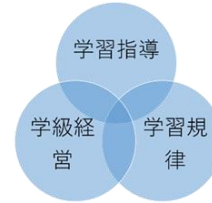
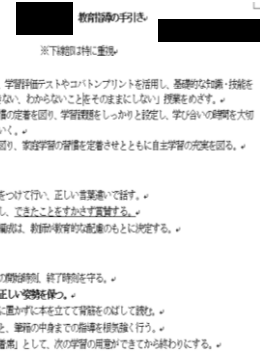
### 取組③学力調査解き方講座

- 市教委指導主事を招いて、全国学力・学習調査の調査問題をもとにした授業改善についての理解を深める。

- ・求められる学力
- ・子供の躓くポイント
- ・問題の構造（リード文、本文等）
- ・指導のポイント（丸で囲む、線でつなぐ等）

### 取組⑤学力を伸ばした指導の共有

- 学力を伸ばした指導を集約して、「A小学校教育指導の手引き」として共有する。
- 各教科の指導の手引きをもとに、学んだことを生かす展開について研修する。



### 取組④個人カルテの活用

- 個人カルテ（コバトンのびのびシート）を作成し、担任が学力の伸びの停滞している児童を把握し、その児童の課題を意識した支援を行う。
- 学力調査の結果綴りを作成し、個票や復習プリントを綴じていくことで、児童に自分の学力レベルを意識させたり、意欲をもたせたりする。



取組⑥ **チャレンジ、教育指導の手引きの活用**(→取組⑤)

○授業スタイル・板書・ノート指導の統一・規律の共通指導

板書の仕方とノート指導

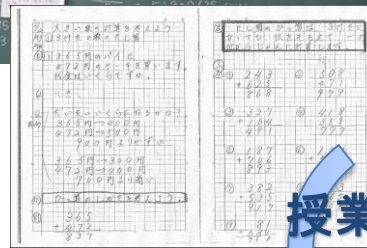
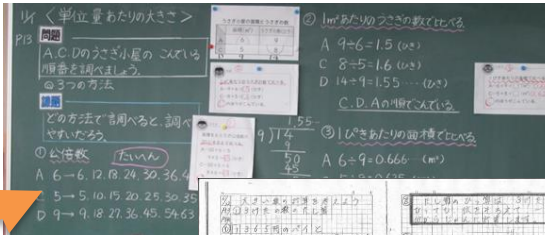
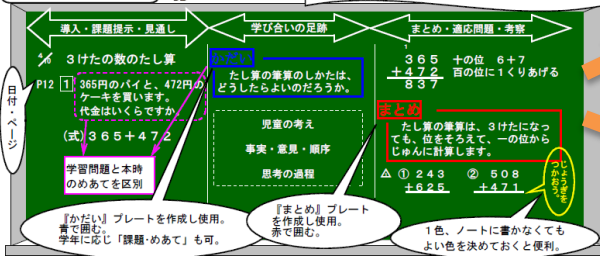
「児童生徒がどのようにノートを書けるか」構成を考えて、板書しましょう。

板書の仕方

板書の意義

- ア 学習内容の要点・重点の整理となる。
- イ 学習内容の継続的指示となる。
- ウ 一目で、学びの思考過程が明らかとなる。

3分割で板書を構成する



取組⑨ **授業ノートの掲示**

○よい「学び方」や「ふりかえり」の参考になる授業ノートを掲示し、児童に広めたり、意欲を引き出したりする。



授業改善のPDCAサイクルの確立

取組⑦ **研究授業で指導方法の共有・確認**

- 板書指導や授業展開について確認する。
- 全学年で、先行授業、事前授業、研究授業と、3回授業を行うことで、効果的に授業改善の方法を検討する。
- まとめの後の「練習・学び合い」で、学んだことを使って問題を解いたり、説明をしたりする活動を行い、一人一人のアウトプットと定着の見届けを行う。
- 振り返りを書く時間を確保する。



取組⑧ **児童による授業評価アンケート**

○「算数(国語)が楽しい」「発表したり話し合ったりする時間がある」「ふりかえりをしている」等の6項目について、児童にアンケートをとり、学級集計結果を提示し、低い項目の対策を学年で協議する。